

外房法友会

法政大学校友連合会

外房法友会会報

第 10 号

発行所 法政大学校友連合会外房法友会

発行人 目良俊徳

〒 298-0005 いすみ市新田 788

TEL 0470-62-9429

校友連合会千葉県校友会設立される

法政大学校友連合会の全国に存在する支部は、それぞれ地域の校友が自主的に結成し今日まで活動してきました。外房法友会も、平成二年に旧校友会茂原支部として結成されて以来二十数年が経過しましたが、この間、歴代支部長や故末石恒夫法政大学理事ほか多数の先輩方がご尽力され、他支部に比べ小さい支部ながら活発な活動をしてきました。千葉県内支部としては、千葉中央、松戸そして外房の三支部しかありません。全国的にみても、一つの県全域を網羅する支部が存在するところはごくわずかしかありません。



法政大学校旗 (略旗)

このような状況では、新しく卒業する学生が校友会に入会しようとしても、どこに申し込みをしてよいのか全く不明確であります。

そこで、校友連合会では、大学および学生の保護者組織である後援会と協議し、新たな組織づくりに着手しました。全国四十七都道府県に一つの支部(一県一支部)をつくり、新規卒業生はそれぞれの住所地の県支部に所属するというものです。こうした改革の背景には、校友連合会の組織事情がありました。現在、法政大学の卒業生は全国に四十万名いるといわれていますが、校友連合会の会費を納入しているのは五千数百名しかいません。このような財政事情では有効な校友会活動も出来ません。すでに明治大学など多くの大学では校友会費を在学生から一括徴収しています。したがって全ての卒業生が会費納入済みとなります。明治大学校友会では豊富な資金を背景にして活発な活動をし、それが大学のイメージアップにも寄与しているようであります。法政大学でも、

来年度卒業生から校友連合会費の一括徴収を大学が代行して行うことに大学および後援会が同意しましたが、その条件として、全ての卒業生が加入できる組織づくりが求められました。千葉県でも、三支部に昨秋に結成された成田支部を加えた四支部で一県一支部体制に向けた協議を重ね、昨年十一月二日『法政大学校友連合会千葉県校友会』を設立しました。会長に伊藤貞雄(千葉中央)、副会長に三橋裕(千葉中央)、廣野貴之(松戸)、目良俊徳(外房)の各氏が就任しました。今後、外房法友会は千葉県校友会の地域支部組織として存続し、校友連合会本部との関わりは千葉県校友会を通してのものとなりますが、それ以外は今までと全く変わりません。総会も各事業もまた会報の発行も続けていきます。法政大学が益々発展し、卒業生が誇りを持てる母校となりますよう、微力ですが校友会活動を続けていく所存です。総会及び事業開催の際にはぜひご参加下さい。

外房法友会会員の皆様には今後とも外房法友会に絶大なるご支援を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

2013 「オール法政新年を祝う会」に参加して

外房法友会会長 目良 俊徳

ペギー葉山の素晴らしい歌がきけるといふことで出席を決意しました。二〇一三年一月

二六日、会場は、品川にあるグランドプリンスホテル新高輪「飛天の間」。三十年程前に友人の結婚式に出席した際、高輪プリンスホテルに来たことがあったので、会場には迷うことなく到着できました。しかし、その会場たるや想像を絶する広さで大変驚きました。聞くところによると、プロ野球のドラフト会議が行われる会場とのこと。さらに、出席者数は、全国及び各界から一千人余とのこと。十人がけの丸テーブル百二席も用意されていました。外房支部からは佐久間武さん、成嶋まさるさん、そして私と私の妻の四人の出席です。会に先立ち、アリオンコール（男性コーラス）が、OB会員と共に

「校歌、学生歌」のすばらしいハーモニーを響かせました。いよいよ開会です。岩村元雄

校友連合会副会長の開会宣言。次に桑野秀光校友連合会会長の挨拶。さらに、増田壽男法政大学総長を始め渡邊秀雄後援会長、上田清埼玉県知事の祝辞が続きました。挨拶の中で印象に残ったことは、OB・OGが一番母校愛を感じることができ、昨年秋の六大学野球優勝、正月の箱根駅伝シード校入賞、また三宅宏実選手ロンドンオリンピック銀メダル獲得等スポーツの充実発展に関する話題でした。個人的に一番嬉しかったのは、上田埼玉県知事が昭和四十六年法学部卒業ということ、私と同学部・学年であったことです。同じ時代・同じ教室で学んでいたかもしれせん。

阿部鞏東京都校友会長の乾杯で食事と歓談が始まりました。

一段落して特別企画、山本浩二サムライジャパン総監督及び三宅宏実ロンドンオリンピック銀メダリスト、お二方のお話がありました。いつもTVや新聞でしかお会いできない超有名な同窓生がライブで身近に会うことができ、しかもお話を伺うことができたことには非常に感動いたしました。

そして、待ちに待ったアトラクション①は、「ペギー葉山」特別ショーです。ペギー葉山さんは、デビュー六十周年との紹介がありました。ライトの中の彼女の姿は美しく、若々しく見事な歌声を会場に響かせ、会員を魅了させてくれました。「葛のからまるチャペルで祈りを捧げた日・・・」昔日の懐かし

い記憶が蘇ります。歌とともに昔に戻ることができたらどんなに素晴らしいことであろうか。一時叶わぬ夢を見ることができたのは、歌のせい、またはまた酒のせいか・・・

会がさらに盛り上がって行く中で残念ながら今年には都合でここで退席です。初めての参加でしたが、「法政大学」をこんなにも身近に感ずることができたのはおよそ四十年ぶりのことでした。法政大学の益々の発展充実を祈りつつ帰途につきました。

（昭和四十六年・法卒）

山本ゼミの事など

渡邊 光夫



過去二回文集が発行された。「喜寿祝記念文集」・『開講五〇周年記念文集』へそれぞれ投稿し掲載していただいた。それで今回は「遠慮しよう」と思っていた。しかし、山本先生の追悼文集で、いろいろお世話になったので、何か書かなければ失礼だと気付いた。それに第一回文集に際し、文集発行を言いだした張本人なので何か書かねば無責任の謗りを受けるような気がする。それです。思いつくままに書くことにした。

「あなたを待たば雨が降る 濡れて来ぬかと気にかかる……。」とぞんじ、フランク永井の、「有楽町で逢いましょう」。昭和三十三年卒業の時に流行していた歌である。卒業の時にまだ就職先が決まっていなかった。大学の二部(夜間)の文学部へ学士入学をしようかと思つた時、法政大学の就職部で、当時東京へ進出して来た、「そごうデパート」への就職を世話して下さる話が

来た。よい話だったが、結局こちらの都合でないものになってしまった。「有楽町で逢いましょう」を聞くとあの頃のことを思い出される。

また、就職部から、教員を希望していた私に、先輩が多く教員になっている、江戸川区の某女子高の教員の紹介も受けたが、結局ことわってしまった。もし、途中で辞める様なことがあつたら学校は勿論のこと、大学にも大迷惑をかけることになる。いろいろ考えた末に折角の良い話も断ってしまった。そのためか約二年間、大学は卒業したけれど浪人として、郷里山梨へ帰り、よい言葉では晴耕雨読の失意の生活の破目になり、自ら招いた苦い経験で、以後の人生によい薬になった。そんな訳で法政大学には大いに感謝している。その恩返しとまでは行かないと思うが、現在、校友会連合会監事八年目として役員会の末席を勤めさせてもらっている。

山本ゼミ二年間(昭和三十一、三十二年度)の思い出については、同期が林恒雄会長であり、既に林会長が、「山本弘文先生喜寿祝記念文集」、私と山本ゼミ四十四年の歳月」(二十九頁以後)に詳しく載っている。それと重複する所が多いのでそれを避けた。私の提供した五枚の写真が載っている。それ等の写真は小田急電鉄の、たしか柿生駅で降りて地主の家へ資料を見せてもらいに行つた時の物と思う。経済史を学ぶ上での古文書の読解の必要性を教えていただいた。そう云えば写真入りの史料集を推薦していただき、家のどこかにあるので探すところである。

「よき師よき友集い結び……」人生に於いてよき友を持つことは大切な事である。大人になって社会生活で得た友人は、ややもすると利害打算等の絡んだものもあるが高校生、大学生の時のものは純粹で

ある。今考えてもつと山本ゼミの中の友人を多く作っておくべきと後悔している。三十三年に卒業して、後に県立高校の社会科の教員になった。沖縄県が米国から返還される時、社会科の教員を集めて、琉球沖繩史に詳しい山本先生に茂原市へおいで頂いてご講義して頂いた。また高校長になり、毎年、杉並区の普門館で全国の高校校長会総会があり、その後法政大学卒の校長と大学との懇親会が新宿のハイアットホテルであり、大学の常務理事で代表の先生ともお会い出来るのも楽しみであった。これからは手元にある先生のご労作「南島経済史の研究」・「維新期の街道と輸送」を折に触れて書き、先生を偲びたいと思つている。先生のご冥福を心から祈念する。(法政大学名誉教授

山本弘文先生追悼文集 平成二十五年三月二七日 より転載)

(昭和三十三年・経卒)

2012 年秋季リーグで優勝の瞬間に居合わせて

いすみ市 渡邊 康志

私が学生当時、法大は敵無しで、東京六大学野球では完全優勝の連覇を重ねて、異次元の強さを誇っていました。ただ、母校の強さを素直に喜べない面もありました。それは、エースに君臨する江川投手が、慶大受験に失敗した後に法大に入学しており、優勝も江川投手に負うところが大きかったからです。週刊誌等では、江川を入学させると裏口入学だと騒がれるので、慶大では例年行はずの加点を行わなかったという噂もささやかれていました。

そんな時代から、実に三十数年ぶりに、東京六大学野球を見る機会を得ました。昔のそんな思惑などすっかり忘れ、純粹な気持ちで野球観戦をすることができました。

球場に到着すると、三塁側応援席に案内されました。優勝がかかった先発マウンドは、エースの三嶋です。前日に完投勝利を挙げたの連投のマウンドだそうです。

試合は五回まで一点を明治大学に先制され、重苦しい空気が応援席に漂っていました。しかし、中盤以降、チャンスを生かした攻撃で得点を重ね、見事六対一で勝利しました。優勝の瞬間を心待ちにしていた満員の応援席は、オレンジの紙テープが飛び交い、歓喜に沸き上がりました。

私が一番驚いたのは、応援団の精力的な活動とチアガールの組織的な活躍ぶりでした。気合いを入れるため(？)、応援のリーダーが頭からバケツで水をかぶっていました。最初のうちは、法政がチャンスを迎える度に、立ち上がって隣の知らない人とも肩を組んで、応援歌や校歌を歌うことが、正直、億劫な気持ちもありましたが、次第に気分も若返り、最後はすっかり、応援席の熱い雰囲気一体化している自分を見ました。

こんなに年齢を重ねて、大学野球

の観戦に訪れるとは全く想像もしていなかったことです。数年前に、外房法友会の集まりに誘われたことが発端で、すばらしい体験ができました。

(昭和五十四年・工学部卒)



不二サッシ株式会社

営業本部特需部 参事 鈴木 勝善
(昭和 42 年法卒)

東京都品川区西五反田4丁目32番1号
TEL 03-5745-1237 FAX 03-5745-1296
携帯電話 090-6795-2524

損害保険ジャパン代理店
損保ジャパンひまわり生命保険代理店

中村保険サービス

中村良逸 (昭和 44 年経卒)

茂原市高師392
TEL 0475-22-2853

「安保賛成、岸を守れ」ではなかったか？

佐久間 武

安倍総理が幼少の頃（昭和三十五年）、祖父の岸総理が「日米安全保障条約」（以下、安保条約と略す）反対運動の渦中にありました。いわゆる、「安保闘争」と言われた大反対運動です。毎日、テレビが反対運動のデモを報じ、デモ隊の「安保反対、岸を倒せ」のシュプレヒコールが連日テレビから聞こえてきました。幼少で何もわからない安倍総理が、毎日テレビを観て覚え、「安保反対、岸を倒せ」と叫んでいたと言うエピソードを新聞か何かで読んだ記憶があります。

ところで、昭和三五年に法政大学入学した私は、四月、五月、六月と、何回か安保反対のデモに参加し、国会正門前に行きました。そして、全学連の指導の下に腕を組んでジグザグデモを行い、「安保反対、岸を倒せ」

とシュプレヒコールをしました。六月、学生が国会正門前で圧死したと言いますが、デモ中に口コミで伝わって来ました。翌日の新聞で、それが東大生の樺美智子さんだと分かりました。警備上の問題で、アイゼンハワー大統領の訪日が中止になり、その後、岸総理は辞任しました。

さて、五十年以上経った昨年、「戦後史の正体」（孫崎亨著・創元社）が出版されました。この本を読んで、表題のように、「安保賛成、岸を守れ」だったのかと思いました。岸総理は、「日米安全保障条約」の内容を日本に有利になるように改定しました。また、日本と米国の間で「日米安保委員会」を設置し、米軍の撤退を委員会で検討するチャンスを作りました。その後十年毎に安保条約は、現在まで何回も自動延長されています。

しかし、その後の総理大臣で、安保を日本に有利になるよう改定したり、米軍の撤退に動いた総理はおりません。岸総理だけが行動を起こしたのです。「安保賛成、岸を守れ」だったのかと。

しかし、日米安全保障条約を実行するための協定である「地位協定」は、すごい内容です。「戦後史の正体」によれば、米国は、日本に対して、「望むだけの軍隊を、望む場所に、望む期間だけ駐留させる権利を獲得することができる」と言う内容です。独立国の日本は、このような「地位協定」を米国と結んでいます。米国に「従属」しているのです。中国は、日本を米国の「めかけ」と言って揶揄しています。戦後占領されていた時代は仕方ありませんが、独立した後、何十年もこんな「地位協定」

に甘んじています。日本の歴史上、特定の国にこれほど従属してきた時代は有りません。

現在の日本は、普天間、辺野古等、昭和二十年に戦争に負けた後遺症が現在も続いているのです。

（昭和三十九年・法卒）

齊藤法律事務所

弁護士 齊藤 友嘉
（昭和 52 年法卒）

東京都中央区銀座7-15-5共同ビル401号室
電話 03-3543-1341
FAX 03-3543-1343

今回の写真展は四つのコーナーを設けました。
 第一は福島震災として福島県南相馬市を中心に3.11の地震、津波そして原発被害に苦しむ地域を展示しました。南相馬市小高区は警戒解除の地区になつたにも関わらず取り壊しが遅々として進まず日中わずかの人が立ち回り、水田では米作りができず休耕田に生えたいせい高泡立ち草を刈って補助金を受ける生活しています。各区全体で耕作地の瓦礫拾いの作業に取り組んでいました。地区の代表的な干拓水田もボンプで水をくみ上げたまま、手のつかぬ有様でした。原発被害は想像以上に大きく人々の生活根底を狂わしています。



今年で四回目になる宮原威太郎・恵子写真展を三月三十一日までおこないました。元々、母親の記念撮影と地元山の最上山の自然観察とホラソニアの活動の記録ため始めた写真撮影がいつの間にかそれが広がりが今日に至っています。
 法政大学二部文学部歴史学科在学中は六十年安保改定の年と重なり昼間縫製工場で働き夜大学に通いテニに参加する日々でした。集英やテニが終わった後には必ず校歌を歌う“…進取の気象質実の風 青年日本の代表者…”の歌詞が心の隅に常に励ましてくれています。

写真展を終わって

宮原威太郎

南相馬と浪江町のさかいらいにある「希望の牧場」は農家が避難する際に離された牛を集め命ある限り育てようとする所です。三百頭もの牛をボランティアの力を借りてぞでていませす。放射能で汚染された牛は搾乳も食用にもなりません。原発を使う人間の愚かさ示す活動でした。



第3コーナーは私たちが十年間続けてきた最上山愛好会の活動を記録した写真を展示しました。最上山は大原の漁師たちの海上の目印になった山ですし信仰の対象になっている山でもあります。照葉樹林帯の北限にあり混在林が目立ちスダジイ、山桜が多く見られホルトの木がある森です。縦走コースを作り、見晴し台の山桜ハイキングを実施してきました。毎年の草刈り、植樹は年中行事になり参加者も多く見られました。

拙い私の活動の一端を紹介して責任を果たしたいと思ひます。法政大學在学中は良き師、良き友に恵まれ夜景に映える新校舎とお堀が目に見えます。

良き師良き友集い結べり法政お我が母校……今も常に進取でありたいと願っています。

第二文学部歴史学科卒業 宮原威太郎

大 学 生 活 を 振 り 返 る

海老根 秀昭

我が母校、法政大学の第百回卒業式に臨んでから早いもので三十一年が過ぎました。

この原稿を書く機会をあたえられ、大学生活を思い出してみました。

私は、工学部でしたので、東小金井の校舎で過ごしていました。東小金井駅で降り、駅の歩道橋から西方に富士山を望むことができました。

入学当初の昼休みだったでしょうか、初めて声をかけた人が、何と互いに誕生日も四月十二日、学科も同じ経営工学科の小林進君でした。

小林君は、富士山の麓の裾野市の出身で、その後、共に教職課程を履修し、中学校の教員となりました。

結婚式には、招待もしあいました。さらに、卒業後二十数年後、修学旅行先の薬師寺で、互いに三年主任として、偶然にも再会できました。まさに、神のみぞ知る出来事でした。小林君は、陸上の短距離が強く、工体連の陸上部で活躍していました。私はというと野球に未練があったのですが、中学時代に肘を壊したので、工体連の野球部に入ろうか、迷い、大学の診療所の医

師にも相談しましたが、結局入部する勇気が起きませんでした。このままでは、せつかくの大学生生活に悔いを残してしまうと危惧し、何か自分自身に挑戦できるものはないかと考えました。

例えば、工学部の大学祭で、夜スタートの五十 km レースがあったので、小林君と共に出場し、八時間ほどかけて翌朝四時過ぎに大学の校門をくぐったというささやかな経験。さらに、以前から関心のあったサイクリングを今度は、単独で実行しました。手始めに、アパートから実家まで無事たどり着くことができました。自分で貯めたお金でサイクリング車を買おうと決めました。

昭和五十五年十月二十六日(日)の午前三時十分にアパートを出発し、午前十一時五十分、岬町の実家に無事到着することができました。走行距離は、百二十七 km と記録に残っています。その後、奥多摩の山や千葉の清澄山に登るなどしながら、自転車による日本縦断を少しずつ進めていきました。

サイクリングを始めたのが、四年生でしたので、教員になってから結婚するまでの数年間、

日本縦断に挑戦していました。

記録によると、九州一周約千 km を、昭和五十七年二月二十一日から三月十五日まで西回りで走破しました。二月二十五日、鹿児島島の宿に泊まっていた時、突然母から「教員採用の面接があるので、すぐに戻ってきなさい」との電話がありました。この時、実家に連絡先を知らせていなければ、今の私は、別の職業に就いていただでしょう。また、昭和五十八年八月九日から十三日まで、今はなき、青函連絡船で北海道に渡り、約六百七十 km を走破しました。旅行中の様々な出来事については、今回は書けませんので、もしも機会がありましたら、お知らせします。(昭和五十六年・工卒)



【宗谷岬にて】

地震災害に備えて (自分の命は自分で守れ!)

今井 富雄

天災(災害)は忘れたところにやってくる」って本当?

明治の物理学者であり文学者であった、寺田虎彦の言葉(格言)です。私にとつて、たぶん皆さん

も同じでしょうが、「地震だ! まず火の始末!」の言葉とともに、幼いころからこの言葉はなじみ深くそして、的を射た言葉として戒めにしてきたように思います。しかし、阪神淡路大震災や東日本大震災を始め、このところの各地で発生する地震や火山活動の兆候など、「災害はいつ起きてもおかしくない」といえる状況にあるのではないのでしょうか。

三十年以内の地震発生確率が発表されていますが、東海地震 8%・東南海地震 70%・南海地震 60%と、まさに「災害はいつ起きてもおかしくない」状況下にあると考えていたほうが良いような気がしています。首都直下地震

も 70% という高い確率は、侮れない数字だと思います。これらがすべて連動して発生すると、あの世界遺産に登録されるはずの富士山の大爆発も危惧されます。

「自助」・「共助」のすすめ

私は、学校を三月に退職してから、『防災士』の資格を取得しました。それは、教員時代に子どもたちにつけて欲しかった「自助の精神」を、自ら防災士という資格を取ることに、「自助そして共助」の気持ちへと広げ、地域のために何か役立つ人間になり、恩返しできればと考えているからです。防災士の資格を取るために、研修会に参加し学んだこと、また、約一月ほど事前にテキストから学んだことを参考に、述べてみたいと思います。

自助とは「自分の命は自分で守る」ことです。自分の命を守れずして、他人を助けることはできま

せん。それどころか、他人の手を煩わせることになってしまうのです。そして、「共助」とは地域で協力して被害を最小限に抑えたり、被災した人を救助したりすることをしていきます。「地震だ! まず身の安全」そして、海岸線や川の河口付近で地震に遭遇したら「地震だ! より遠いところへ、より高い所へ」を念頭に入れて日々を過ごすことが大切だと思うのです。都市ガスやLPガスは、震度5弱以上の揺れを感じると自動的にガスの供給を遮断します。ですから、地震がおさまってからガスの元栓を止めればよいのです。揺れているときに、ガスを止めようと思つたら、加熱したてんぷら油をかぶってしまう危険性もありますし、

まな板の上の包丁が飛んでくることも十分に想定されるわけです。丈夫なテーブルの下や物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動

してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見ること、が肝要なのです。海岸で強い地震を感じたら、まず津波の襲来を予想しましょう。地震の揺れが弱くても、長い時間ゆつくりと揺れるようなときは、津波の可能性があることも覚えておきましょう。

「命を守る」「けがをしない」ための環境づくりが地震対策の第一歩

建物の安全性を高めるために耐震診断と耐震補強をすることは大事なことですが、身近なところで家具類の転倒・落下・移動によって、けがや命を奪われないための対策も大切です。□にレ点が全て示されれば、この項目に限って安全対策は万全と言えそうなので、お試しください。

① 寝室(寝室に家具を置かないこととが理想)や居間・キッチン

(次ページへ続く)

- 家具類には、専用器具を使い転倒防止のための対策をとつてある。
- 家具が寝床に倒れてこない位置(平行)になっている。
- 枕元の上に額縁を飾ったり、棚に水槽類を置いたりしていない。
- 出入口をふさぐようなものは置いていない。(玄関にゴルフバックを置くのも同じ。)
- 食器棚のガラスなどには、飛散防止フィルムを貼っている。
- 包丁類は、使ったらすぐに保管場所に置いている。(出しっ放しにはしていない。)

②職場

- ロッカーには、専用器具で転倒を防ぐための対策が取られている。
- コピー機などのキャスターは取り外しするなど、移動しにくい対策が取られている。
- 多額の現金は、金融機関に預けている。(大金は持ち歩かない。金庫に入れて置かない。)
- 避難通路及び非常口扉が荷物等でふさがれていることはない。

家族(職場従業員)との安否確認のために

家族が離れている場合の事態を想定して、安否確認の連絡方法など話し合っていると思いますが、災害用伝言ダイヤル「171」の活用方法を是非知っておくと良いと思います。また、自宅に張り紙をする(人目に触れない決めた場所)ことも一つの方法だと思います。私たちは、自分の想像できる以外に対応はできないものです。あらゆる場面を想像し、「いざ!」に備えておきましょう。まず「自分の命は自分で守る。」このことが一番大切であることも改めて学びました。(昭和五十一年・法卒)

編集後記

今年二月に東京マラソンに参加しました。当日は寒かったです、快晴で、多くのボランティアに支えられ、快適なマラソン大会でした。このような大会も、災害がなく平和だから実施できるわけですから、いつまでも、スポーツが楽しめる世の中であって欲しいと思います。

(成嶋)

会に対するご意見・ご要望等があれば
下記までご連絡下さい

連絡先

〒299-4415 睦沢町小滝 475-1
(株)三陽測量設計内 古山弘
TEL 0475-44-1869
FAX 0475-44-1959

Eメール h.furuyama@sanyou.sakura.ne.jp

メガソーラーコンサルタント

AIKA 愛花創業株式会社

代表取締役 花澤良三
(昭和46年経卒)

市原市海士有木661番地3
TEL&FAX 0436-36-1160

測量設計全般・土地建物登記

株式会社三陽測量設計

古山弘 (昭和49年工卒)

長生郡睦沢町小滝 475-1
TEL 0475-44-1869

麻生司法書士事務所

司法書士 麻生武
(平成3年法卒)

茂原市鷺巣295番地8
電話 0475-26-5710
FAX 050-3737-5806